



まちに対する想いを語りはじめた「アイデア工房」「池女会」



問 池田町第五次総合計画事業の中間見直しで、財源を伴った予算の見直しは。

答 今回は計画後半の見直しをするため、住民の皆さんのアンケートを基にしている。主要事業を列挙してあるが自主計画も見直している。今後、5年間が大変厳

しい状況であり、税金の収入や事業展開する際は、国の補助金、地方債の発行を踏まえ検討している。

問 大津谷公園の桜山館の利用頻度が少ないと思うが。
答 建設の目的である緊急避難施設としても管理してい



大津谷公園北側にある桜山館

くが、池田山麓花街道基本構想の大津谷の学習・文化・交流ゾーンの整備方針に沿っていく。

問 養老鉄道の概要報告について、1年間民間企業が研究した資料内容は。



通勤、通学を支える養老鉄道

答 資料ではバス路線の内容と、バス代替えの研究内容が大半である。

6月5日

問 人口ピラミッドの資料は、今後の高齢者寿命年齢は食生活などを考えると段々と短くなる説もあるが、現状の寿命年齢で作成してあるのか。

答 統計上は団塊の世代が25年、30年を経過しても生存している状況で作成した。ただし2040年、2060年の池田町人口推移を作成するには、生活習慣病などの要因を年齢に考慮するかが困難で、現状を受け止めた施策も必要である。

問 人口増の考え方で自然増を重要視してあるが、池田町では比較的2人から3人を出産する女性が多い。一方、事情により未婚者の割合も高くなり合計出生率を下げていると考えるが人口分析に反映しているか。

答 現状データを基に分析しており、未婚のため自然増が少ないのか、既婚者は多いが子どもを産んでいない

のかは、今後分析していく。

問 池田町では30代後半から50代でも未婚の男女は多いが、結婚相談件数およびイベント実績と池田町をPRする活動を展開しては。

答 結婚相談は社会福祉協議会で実施しており、平成26年度の相談件数は43件、イベントの実績はない。今後は自治体間でも交流していきたい。

問 海外進出した企業が国内へ戻ってくることもあり、企業誘致によって人口増につながると思うが。

答 地方創生は「まち・ひと・しごと」であることから企業誘致は活性化と人口増になる。現在、西濃圏域や東海環状西回りの完成を見据えながら進めている。また町内の企業や関連企業にも拡張して頂くなど情報収集をしながら努力していく。